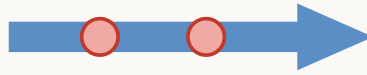


# 勉強の効果を高めるためのチェックポイント

## 点の勉強

1問から最大限学ぶ



## 線の勉強

点をつなぎ、目標へ向かう

問題を解いて丸つけをした後、「解説だけ読んで終わり」にしていないか確認しよう。解説を読んだだけでは、次に同じ問題が出て解けるようにはならない。このシートでは、1問から最大限学ぶための5つのポイントを確認する。

### 1 問題と解答を照らし合わせる

例題（英語）

次の（ ）内の語を適切な形に変えなさい。

He ( be ) in Tokyo yesterday.

正解：was 解説：「過去の文なのでwasを使う」

チェックポイント

- 問題文のどこを見て答えを判断するのかを考えている。
- 問題から答えを出すまでのプロセスを言葉にできる。

### 2 問題と問題を照らし合わせる

例題（数学）

次の式を計算しなさい。

$$\frac{1}{2}x + \frac{1}{3}x$$

→ 通分して計算

次の方程式を解きなさい。

$$\frac{1}{2}x + \frac{1}{3} = 1$$

→ 両辺に6をかける

チェックポイント

- 問題同士を比べて、違いを探そうとする意識がある。
- 問題同士の特徴の違いを言葉にできる。

### 3 記憶の定着チェック

例題（国語・漢字）

あいさつ

挨拶

たいき

待機

しょうり

勝利

かいけつ

解決

そうだん

相談

5問の漢字を練習した後の確認

チェックポイント

- 「本当に覚えられているか？」を自問する習慣がある。
- 勉強の中に自分でテストする時間を設けている。

### 4 本質理解チェック

例題（理科・オームの法則）

6Vの電圧をかけたとき、2Aの電流が流れた。このときの抵抗を求めなさい。

チェックポイント

- 「形を変えて出題されても大丈夫か？」を自問する習慣がある。
- 解法を暗記するのではなく、その意味を理解しようとする習慣がある。

### 5 応用範囲チェック

例題（社会・鎌倉仏教）

専修念仏の教えを説いた、浄土宗の開祖は誰か？

法然

チェックポイント

- 「同じカテゴリーの別の問題が出て大丈夫か？」を自問する習慣がある。
- 解いた問題の周辺知識を点検する習慣がある。